

「神戸マラソン 2025」の経済波及効果 兵庫県内 91 億円(うち神戸市内 81 億円)

「神戸マラソン 2025」は、「感謝と友情」をテーマに、「する・みる・ささえる」が一体となった大会として、ランナー（フルマラソン 20,627 人、リレーラン 145 組）、沿道応援者（670,000 人）、ボランティア（5,955 人）が参加した。すべての大会関係者が、“ありがとう”の気持ちを伝えあい、阪神・淡路大震災からの復旧・復興における経験と教訓、兵庫・神戸の魅力の国内外への発信に貢献した。2025 大会から明石市大蔵海岸までコース変更が行われたため、明石市内の経済波及効果を試算した。

マラソンへの参加や応援活動には、移動・飲食・買物・宿泊などの経済的な効果が伴った。本調査では、「神戸マラソン 2025」及びマラソン EXPO 参加者の観光消費を主体とした兵庫県内及び神戸市内、明石市内（試算）の経済波及効果について推計を行った。

経済波及効果概要（2025 大会）

	兵庫県内	神戸市内	明石市内 ^{注 4)}
生産誘発額 ^{注 1)}	91.2 億円	81.3 億円	5.6 億円
付加価値誘発額 ^{注 2)}	51.7 億円	43.4 億円	3.0 億円
就業者誘発数 ^{注 3)}	1,183 人	619 人	73 人

注 1) 生産誘発額：売上額の合計で、生産をどれだけ誘発したかを示したもの

注 2) 付加価値誘発額：（売上額－経費等）の合計で、生産活動の成果を示したもの

注 3) 就業者誘発数：生産誘発額を就業者数（従業地ベース）に換算したもの

注 4) 経済波及効果は試算値

「神戸マラソン 2025」の経済波及効果概要

（単位：億円、人）

項 目	兵庫県内	神戸市内	明石市内	備 考
生産誘発額	91.2	81.3	5.6	経済効果(売上額の合計)
直接効果	61.1	49.4	4.5	最終需要額
第一次間接効果	17.5	19.4	0.6	原材料消費から誘発効果
第二次間接効果	12.5	12.5	0.5	民間消費支出による誘発効果
付加価値誘発額	51.7	43.4	3.0	(売上額－経費等)の合計
名目GDP	250,969	77,590	13,068	2024年度速報
名目GDP比(%)	0.02	0.06	0.02	
就業者誘発数	1,183	619	73	個人業主、雇用者等

（資料）兵庫県「2020兵庫県産業連関表」、神戸市「2015神戸市産業連関表」、地域経済指標研究会「2015明石市産業連関表」

兵庫県地域経済指標研究会「地域別経済動向指標(市町内総生産速報)」(2025年12月推計)

推計資料

- ・神戸マラソン実行委員会「神戸マラソン 2025 ランナーに関する調査」
- ・神戸マラソン実行委員会「神戸マラソン 2025 応援・観覧者の動向に関する調査」
- ・神戸マラソン実行委員会「神戸マラソン 2025 インバウンド調査」
- ・神戸マラソン実行委員会「神戸マラソン 2025」運営資料
- ・兵庫県統計課「令和 2 年兵庫県産業連関表」
- ・神戸市政策課「平成 27 年神戸市産業連関表」
- ・兵庫県立大学 地域経済指標研究会「平成 27 年明石市産業連関表」

※詳細は、資料「神戸マラソン 2025 の経済波及効果について」資料を参照してください。

内容照会先 兵庫県地域経済指標研究会

ソーシャルデータサイエンス研究所特任教授 芦谷 恒憲 (TEL 078-794-5142)

※研究会 URL <https://www.u-hyogo.ac.jp/sds/database/>

「神戸マラソン 2025」の経済波及効果について

兵庫県地域経済指標研究会

令和7年11月16日に「神戸マラソン 2025」が開催された。神戸マラソン開催は、地域住民のスポーツを通じた健康増進、阪神・淡路大震災からの復興へ手を差し伸べていただいた方々への感謝の気持ちの表明・国内外の被災地域への経験・教訓の発信に貢献した。こうした健康増進や震災復興への感謝といった社会的意義に加えて、神戸マラソンは、ランナー・観客など県内外から多数の来訪者があることから、来訪者の移動・飲食・買物・宿泊などの経済的な効果が伴い、経済波及効果を推計した。

1 マラソン参加者、沿道応援者等の概況

「神戸マラソン 2025」大会の参加ランナーは、フルマラソンでは、20,627人で前回比136人減であった。2024年大会から設定されたリレーラン(2人1組)は、145組参加した。(表1)

表1 大会参加者・完走者の推移

(単位:人、%)

区 分	第9回	第10回	2023大会	2024大会	2025大会	前回比増減
フルマラソン 参加者(A)	20,320	20,255	20,360	20,763	20,627	▲ 136
完走者(B)	19,444	19,449	19,579	19,498	19,779	281
完走率(%) C=B/A	95.7	96.0	96.2	93.9	95.9	2.0
リレーラン※ 参加者(D)	—	—	—	166	145	▲ 21
完走者(E)	—	—	—	157	132	▲ 25
完走率(%) F=E/D	—	—	—	94.6	91.0	▲ 3.6

(出所)神戸マラソン実行委員会資料

出走者数(20,627人)のうち、兵庫県内は、8,018人(2024大会比621人減)で全体の38.9%を占める。地域別の増減を見ると、海外からは、2,223人で同783人増、兵庫県を除く近畿(5,236人)は、同467人減であった。(表2)

表2 地域別出走者数の推移

(単位:人)

区分	第9回 2019	第10回 2022	2023大会	2024大会	2025大会	割合(%)	前回比増減
北海道	377	165	136	131	134	0.6	3
東北	275	149	137	109	127	0.6	18
関東	1,821	1,654	1,652	1,459	1,804	8.7	345
中部	1,476	1,392	1,288	1,334	1,345	6.5	11
近畿							
兵庫県	7,992	9,530	9,141	8,639	8,018	38.9	▲ 621
その他	5,295	5,835	5,707	5,703	5,236	25.4	▲ 467
計	13,287	15,365	14,848	14,342	13,254	64.3	▲ 1,088
中国	760	684	757	816	746	3.6	▲ 70
四国	673	533	644	745	599	2.9	▲ 146
九州・沖縄	660	307	416	387	395	1.9	8
海外	991	6	482	1,440	2,223	10.8	783
合計	20,320	20,255	20,360	20,763	20,627	100.0	▲ 136

(出所)神戸マラソン実行委員会※出走者数はフルマラソンのみ計上

沿道応援者数は、67万人で、2024大会比50,000人増であった。イベント別来場者数は、EXPO来場者数(30,000人)は、同1,000人減であった。(表3)

表3 イベント等来場者数の推移

(単位:人)

区分	第9回	第10回	2023大会	2024大会	2025大会	前回比増減
EXPO来場者数	30,000	27,000	29,000	31,000	30,000	▲ 1,000
集客イベント(3箇所)(注)	43,000	—	37,700	40,500	26,300	▲ 14,200
沿道応援者数	610,000	—	610,000	620,000	670,000	50,000
沿道応援イベント団体	116	—	97	84	39	▲ 45

(注)集客イベント:若松公園、ノエビアスタジアム神戸、市民広場

集客イベント(2025) 若松公園、メリケンパーク+神戸・明石キッズラン

(出所)神戸マラソン実行委員会資料

ボランティアは、EXPO会場でのランナーの受付、マラソンコースでの給水・給食・沿道整理、ランナーの救護、手荷物預かり返却等であり、ボランティア参加者は、5,955人で、2024大会比で214人減であった。(表4)

表4 ボランティア参加人数

(単位:人)

区分	第9回	第10回	2023大会	2024大会	2025大会	前回比増減
EXPO等	670	664	716	809	751	▲ 58
マラソン当日	6,181	5,104	5,485	5,360	5,204	▲ 156
計	6,851	5,768	6,201	6,169	5,955	▲ 214

(出所)神戸マラソン実行委員会資料

2 消費支出額（最終需要額）の推計

経済効果推計範囲は、交通費、宿泊費支出、商業・飲食等の関連消費のほか、新たな消費活動による生産活動が含まれる。推計の対象期間は2025年11月14日～16日で関連事業費は2025年度分を含めて推計した。

来訪者の飲食・買物などの消費活動は、他の産業の生産を誘発する。例えばレストランで食事をすれば、料理に使用される野菜や肉（農業）、調味料、パン（飲食料品）など関連した産業の需要につながる。こうした経済波及効果を兵庫県内は「令和2年兵庫県産業連関表」、神戸市内は「平成27年神戸市産業連関表」、明石市内は「平成27年明石市産業連関表」を用いて推計する。消費支出額は、「参加者（ランナー）向け調査」、「応援観覧者の動向調査」、「インバウンド調査」などから応援観覧者の消費支出額を推計した。

(1) 消費支出額の推計

観光消費支出額は、一人当たり消費額（参加者・沿道応援者等）×参加者数により推計した。観光客一人当たり消費額は、「参加者（ランナー）に関する調査」（流通科学大学 山口研究室）、「インバウンド調査」（流通科学大学 山口研究室）、「神戸マラソンの応援観覧者の動向に関する調査」（流通科学大学西村研究室、兵庫県地域経済指標研究会）、「神戸マラソン2025におけるインバウンド調査」（流通科学大学山口研究室）を使用した。1人当たり消費単価は、大会参加者（ランナー）は県内、県外では増加、応援観覧者は、神戸市内、兵庫県内、関西地域等の地域で減少した。(表5)

表5 参加者、沿道応援・観覧者消費単価

(単位:円)

区分	第6回	第7回	第8回	第9回	2023大会	2024大会	2025大会	2024比増減	対2024比
大会参加者									
(ランナー)									
県内	4,116	5,690	6,666	4,406	8,174	6,917	7,076	159	2.3
県外	27,766	28,764	31,655	33,608	35,884	29,320	40,510	11,190	38.2
応援観覧者									
近隣(神戸市同区)	3,976	4,610	5,319	4,884	3,276	2,263	3,614	1,351	59.7
神戸市内(除近隣)	4,696	4,810	5,183	5,639	4,331	7,223	4,077	▲ 3,146	▲ 43.6
兵庫県内(除神戸市)	5,796	4,610	6,585	7,877	6,655	7,758	7,377	▲ 381	▲ 4.9
※居住地の重複なし									
関西地域	8,243	5,861	7,322	10,588	8,840	11,953	6,923	▲ 5,030	▲ 42.1
その他県外	17,625	36,930	33,891	36,431	34,811	40,439	53,195	12,756	31.5

(出所)神戸マラソン実行委員会・兵庫県地域経済指標研究会推計資料

消費区分別の動向を見ると、その他の地域で宿泊費等の増加により消費単価は増加した。（表6）

表6 2025大会応援観戦者費目別増減(対2024大会比) (単位:円)

区分	事前購入	当日支出計	交通費	宿泊費	飲食費	その他	合計
近隣	359	991	648	305	92	▲ 54	1,351
神戸市内	▲ 229	▲ 2,917	▲ 166	▲ 475	▲ 1,203	▲ 1,074	▲ 3,146
兵庫県内	▲ 80	▲ 300	▲ 73	557	607	▲ 1,392	▲ 381
関西地域	649	▲ 5,679	▲ 851	▲ 2,684	▲ 1,197	▲ 947	▲ 5,030
その他地域	393	12,362	2,218	14,727	▲ 238	▲ 4,344	12,756

(出所)神戸マラソン実行委員会・兵庫県地域経済指標研究会推計資料

(2) 最終需要額の推計

消費支出額は、大会参加者（ランナー）は 8.6 億円（うち国内 2.6 億円、海外 6.0 億円）、応援観戦者は 57.7 億円、ボランティアは 2.1 億円で計 68.4 億円である。うち兵庫県内 52.4 億円、神戸市内 41.4 億円、明石市内 3.7 億円である。（表7）

表7 項目別消費支出額 (単位:億円)

項目	大会参加者 (ランナー)	海外ラン ナー・同伴者	応援観戦者	ボランティア	計	うち兵庫県 内	うち神戸市 内	うち明石市 内
交通費	1.0	0.3	13.6	0.6	15.5	9.1	6.9	0.5
宿泊費	0.7	1.9	15.7	0.0	18.3	12.8	9.6	0.2
飲食費	0.5	1.6	14.0	1.2	17.3	16.2	13.0	1.6
土産代	0.2	1.2	3.5	0.1	5.0	4.6	3.6	0.3
その他	0.2	1.0	6.3	0.2	7.7	6.8	5.7	0.3
事前購入	—	—	4.6	—	4.6	2.9	2.6	0.9
合計	2.6	6.0	57.7	2.1	68.4	52.4	41.4	3.7

(出所)兵庫県立大学地域経済指標研究会推計(単位未満四捨五入のため合計値と内訳が一致しない)

神戸マラソンの周辺整備や運営・維持管理費、安全対策や情報発信など運営関連経費として支出された。これらの活動に伴う事業費等(8.6 億円)を加算した最終需要額(国内)は、77.0 億円である。（表8）

表8 神戸マラソン最終需要額(国内)の推移 (単位:億円)

項目	第8回	第9回	2023大会	2024大会	2025大会	うち県内需要
消費支出額	72.5	84.8	59.3	67.1	68.4	52.4
大会参加者(ランナー)	4.1	4.1	5.2	5.2	8.6	8.2
沿道応援観戦者等	68.4	80.7	54.1	61.9	59.8	44.2
大会運営費	6.3	7.1	7.7	7.9	8.6	8.6
合計	78.8	91.9	67.0	74.9	77.0	61.1
推計実施機関	兵庫県立大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学	

(出所)神戸マラソン実行委員会・兵庫県地域経済指標研究会推計

3 経済波及効果推計結果

経済波及効果は、神戸マラソン実行委員会事務局から提供のあった関連資料や各種経済統計データにより、兵庫県及び神戸市を対象に、「令和2年兵庫県産業連関表」、「平成27年神戸市産業連表」、「平成27年明石市産業連関表」から、産業連関分析により推計した。経済波及効果（生産誘発額）は、兵庫県内91.2億円、神戸市内81.3億円、明石市内5.6億円である。原材料費等経費を除いた付加価値誘発額は、兵庫県内51.7億円、神戸市内43.4億円、明石市内3.0億円である。就業者誘発数は、兵庫県内1,183人、神戸市内619人、明石市内73人である。（表9）

経済波及効果の内訳は、参考表1（兵庫県内）、参考表2（神戸市内）、参考表3（明石市内試算）である。第8回から2025大会までに経済波及効果概要は、次のとおりである。（表10）

表9 神戸マラソン2025大会の経済波及効果概要

（単位：億円、人）

項 目	兵庫県内	神戸市内	明石市内	備 考
生産誘発額	91.2	81.3	5.6	経済効果(売上額の合計)
直接効果	61.1	49.4	4.5	最終需要額
第一次間接効果	17.5	19.4	0.6	原材料消費から誘発効果
第二次間接効果	12.5	12.5	0.5	民間消費支出による誘発効果
付加価値誘発額	51.7	43.4	3.0	(売上額－経費等)の合計
名目GDP	250,969	77,590	13,068	2024年度速報
名目GDP比(%)	0.02	0.06	0.02	
就業者誘発数	1,183	619	73	個人業主、雇用者等

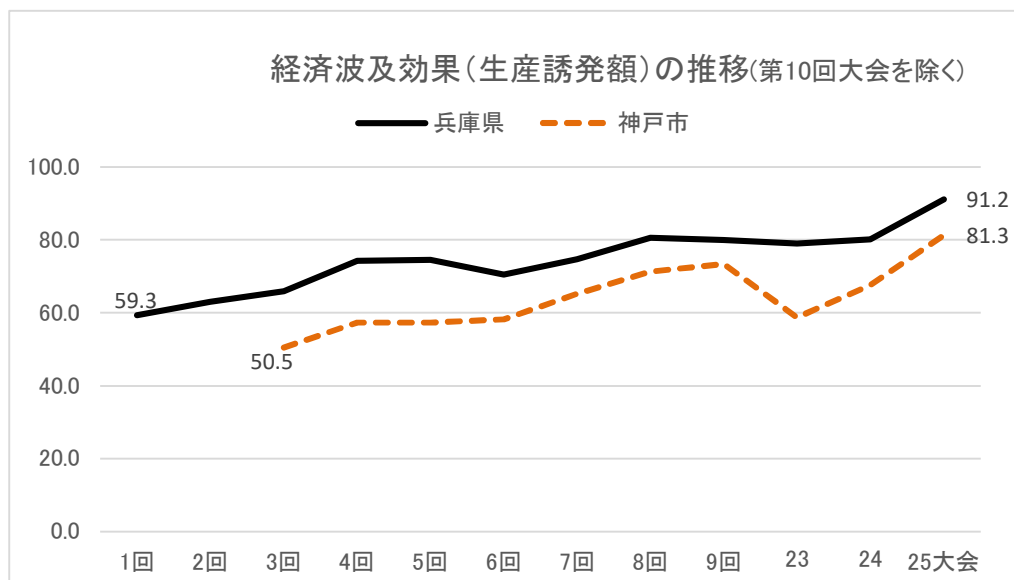
（資料）兵庫県「2020兵庫県産業連関表」、神戸市「2015神戸市産業連関表」、地域経済指標研究会「2015明石市産業連関表」
兵庫県地域経済指標研究会「地域別経済動向指標(市町内総生産速報)」(2025年12月推計)

表10 神戸マラソン経済波及効果(兵庫県内)比較

（単位：億円、人）

区分	第8回	第9回	2023大会	2024大会	2025大会	2024比増減
開催日	2018年11月18日	2019年11月17日	2023年11月19日	2024年11月17日	2025年11月16日	
参加者	20,395	20,320	20,360	20,763	20,627	▲ 136
沿道応援観戦者	600,000	610,000	610,000	620,000	670,000	50,000
直接効果(県内分)	55.5	54.2	54.1	55.0	61.1	6.1
生産誘発額	80.6	80.0	79.1	80.2	91.2	11.0
付加価値誘発額	45.2	44.2	42.9	43.9	51.7	7.8
就業者誘発数	922	863	851	875	1,183	308
使用産業連関表	H23年県産業連関表	H27年県産業連関表	H27年県産業連関表	H27年県産業連関表	R2年県産業連関表	
推計実施機関	兵庫県立大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学	

（出所）神戸マラソン実行委員会資料、兵庫県地域経済指標研究会



※「神戸マラソン 2025 インバウンド調査」により外国人ランナー及び同伴者消費支出額の推計方法を変更し、消費支出額を別途推計した。そのため、2024 大会の経済波及効果とは厳密な比較はできない。

4 スポーツ産業と神戸マラソン 2025 との比較

スポーツ産業は、多くの産業によっているため、既存の統計によりスポーツ産業の経済規模を捉えることは困難である。そのため、スポーツ産業の経済規模を測定するためのスポーツサテライトアカウント (SSA: Sports Satellite Account) の作成が必要である。スポーツ産業統計の定義であるヴィリニウス定義 (2007) によりスポーツ産業に該当する財・サービスを定義し、兵庫県産業連関表などを用いて兵庫県スポーツ GDP を試算し、神戸マラソン 2025 の経済波及効果と比較した。

兵庫県スポーツ GDP と神戸マラソン 2025 大会経済波及効果と比較すると、生産誘発額 (経済波及効果) は 2025 年兵庫県スポーツ産業生産額 (4,547 億円) の 2.0%、付加価値誘発額 (GDP) は、兵庫県スポーツ GDP (2,921 億円) の 1.8% である。

(表 11)

表11 神戸マラソン2025経済波及効果経済規模比較 (単位:億円、%)

項目	2025年兵庫県スポーツ GDP	2025大会経済波及効果	構成比	備考
経済波及効果	4,547	91	2.0	生産誘発額
付加価値額(GDP)	2,921	52	1.8	付加価値誘発額

(出所)兵庫県地域経済指標研究会推計(2025)

兵庫県スポーツ GDP 統計表：参考表 3、参考表 4、参考表 5

(参考) スポーツ関連部門(統計部門)

- ・ 娯楽：興行場・興行団、公営競技、スポーツ施設提供業など
- ・ 教育：スポーツ教育 (小学校から大学の体育)
- ・ その他の製造工業製品：運動用品
- ・ 衣服・身回品：スポーツウェア、一般衣料品 (スポーツ目的利用)
- ・ 個人サービス：スポーツ・健康教授業 (スイミングスクール、ヨガ教室等) など
- ・ その他：商業 (商業マージン)、運輸業 (運輸マージン)

参考表1 神戸マラソン2025大会の経済波及効果(兵庫県内)

(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	63.6	82.7	35.3	26	10
2 林業	0.0	2.5	1.6	1	1
3 漁業	0.0	2.4	1.1	0	0
4 鉱業	0.0	0.7	0.4	0	0
5 飲食料品	56.8	221.7	74.6	7	7
6 繊維製品	175.0	182.1	71.2	23	17
7 パルプ・紙・木製品	0.0	24.8	8.8	1	0
8 化学製品	0.0	27.4	9.8	0	0
9 石油・石炭製品	0.0	20.7	5.4	0	0
10 プラスチック・ゴム製品	0.0	16.7	7.2	0	0
11 窯業・土石製品	0.0	5.5	2.7	0	0
12 鉄鋼	0.0	8.8	1.9	0	0
13 非鉄金属	0.0	0.6	0.1	0	0
14 金属製品	0.0	10.0	4.6	0	0
15 はん用機械	0.0	4.3	1.9	0	0
16 生産用機械	0.0	6.0	2.6	0	0
17 業務用機械	0.0	0.7	0.3	0	0
18 電子部品	0.0	3.1	1.0	0	0
19 電気機械	0.0	3.9	1.3	0	0
20 情報通信機器	0.0	7.3	2.2	0	0
21 輸送機械	0.0	13.0	3.9	0	0
22 その他の製造工業製品	262.6	292.9	117.8	22	19
23 建設	0.0	48.5	22.5	3	3
24 電力・ガス・熱供給	0.0	252.6	100.9	1	1
25 水道	0.0	56.7	25.1	1	1
26 廃棄物処理	0.0	101.4	64.2	8	8
27 商業	183.4	327.3	222.7	50	47
28 金融・保険	0.0	213.9	129.5	8	8
29 不動産	0.0	625.2	508.3	9	7
30 運輸・郵便	948.5	1,151.8	730.3	90	84
31 情報通信	0.0	142.4	71.2	5	5
32 公務	0.0	10.7	7.6	0	0
33 教育・研究	0.0	51.6	36.4	5	5
34 医療・福祉	0.0	92.4	53.7	10	10
35 他に分類されない会員制団体	0.0	37.1	21.8	5	5
36 対事業所サービス	821.9	1,289.4	802.6	167	145
37 対個人サービス	3,599.4	3,737.4	1,997.4	741	607
38 事務用品	0.0	15.7	0.0	0	0
39 分類不明	0.0	24.7	16.0	0	0
40 合計	6,111.3	9,116.7	5,165.7	1,183	990

(資料)兵庫県統計課「令和2年兵庫県産業連関表」

参考表2 神戸マラソン2025大会の経済波及効果(神戸市内)

(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農林業	49.0	63.7	31.0	16	3
2 酒類	0.0	98.6	62.1	1	1
3 その他の食料品	43.7	303.3	98.1	16	15
4 繊維製品	152.6	153.5	67.0	55	54
5 製材・木製品・家具	0.0	3.4	1.3	0	0
6 ゴム製品	0.0	4.6	2.3	0	0
7 化学製品	0.0	22.8	9.4	0	0
8 鉄鋼	0.0	3.6	0.9	0	0
9 金属製品	0.0	5.3	2.3	0	0
10 はん用機械	0.0	3.2	1.2	0	0
11 生産用機械	0.0	4.2	1.8	0	0
12 業務用機械	0.0	2.0	0.6	0	0
13 電子部品	0.0	0.2	0.1	0	0
14 電気機械	0.0	13.5	4.9	0	0
15 情報・通信機器	0.0	1.7	0.5	0	0
16 造船	0.0	0.4	0.2	0	0
17 その他の輸送機械	0.0	19.5	6.6	0	0
18 その他の製造工業製品	220.9	267.1	92.3	13	13
19 建設	0.0	24.4	10.8	0	0
20 電力・ガス・水道業	0.0	304.4	120.6	6	6
21 商業	141.1	638.1	429.5	53	49
22 金融・保険	0.0	119.7	77.2	5	5
23 不動産	0.0	364.4	298.8	7	6
24 港湾サービス業	0.0	3.4	1.4	0	0
25 港湾以外の運輸	718.9	1,126.0	655.7	66	64
26 情報通信	0.0	136.4	70.8	3	3
27 教育	0.0	34.6	28.4	4	4
28 研究	0.0	1.9	1.1	0	0
29 医療	0.0	28.6	15.8	1	1
30 保健衛生・福祉・介護	0.0	43.5	30.1	6	6
31 その他の非営利団体サービス	0.0	35.7	21.4	5	5
32 対事業所サービス	755.8	1,187.0	730.1	106	92
33 宿泊業	969.6	971.8	449.6	44	44
34 飲食サービス	1,310.6	1,406.1	539.1	116	88
35 その他の対個人サービス	573.6	671.1	450.0	96	71
36 公務	0.0	13.4	9.4	0	0
37 事務用品	0.0	13.1	0.0	0	0
38 その他	0.0	2.0	0.0	0	0
39 分類不明	0.0	34.2	13.9	0	0
合計	4,935.6	8,130.5	4,336.5	619	530

(資料)神戸市政策調査課「平成27年神戸市産業連関表」

参考表3 神戸マラソン2025大会の経済波及効果(明石市内)

(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	5.0	5.4	2.4	2	2
2 林業	0.0	0.1	0.0	0	0
3 漁業	0.0	1.5	0.8	0	0
4 鉱業	0.0	0.0	0.0	0	0
5 飲食料品	4.5	5.7	2.5	0	0
6 繊維製品	46.3	46.3	17.6	10	7
7 パルプ・紙・木製品	0.0	1.6	0.5	0	0
8 化学製品	0.0	0.0	0.0	0	0
9 石油・石炭製品	0.0	0.2	0.0	0	0
10 プラスチック・ゴム製品	0.0	0.4	0.2	0	0
11 窯業・土石製品	0.0	0.1	0.1	0	0
12 鉄鋼	0.0	0.2	0.0	0	0
13 非鉄金属	0.0	0.2	0.0	0	0
14 金属製品	0.0	1.1	0.5	0	0
15 はん用機械	0.0	0.1	0.0	0	0
16 生産用機械	0.0	0.0	0.0	0	0
17 業務用機械	0.0	0.6	0.2	0	0
18 電子部品	0.0	0.0	0.0	0	0
19 電気機械	0.0	0.4	0.1	0	0
20 情報通信機器	0.0	0.3	0.1	0	0
21 輸送機械	0.0	1.6	0.3	0	0
22 その他の製造工業製品	52.9	56.6	21.3	1	1
23 建設	0.0	1.6	0.7	0	0
24 電力・ガス・熱供給	0.0	1.1	0.3	0	0
25 水道	0.0	3.0	1.4	0	0
26 廃棄物処理	0.0	3.3	2.1	0	0
27 商業	14.4	31.5	22.0	5	3
28 金融・保険	0.0	9.4	6.1	0	0
29 不動産	0.0	20.9	17.9	0	0
30 運輸・郵便	53.8	63.2	42.4	3	3
31 情報通信	0.0	1.6	0.8	0	0
32 公務	0.0	1.0	0.7	0	0
33 教育・研究	0.0	2.9	2.0	0	0
34 医療・福祉	0.0	4.0	2.2	0	0
35 他に分類されない会員制団体	0.0	2.0	1.1	0	0
36 対事業所サービス	66.2	81.2	47.6	15	12
37 対個人サービス	204.2	210.7	106.8	37	28
38 事務用品	0.0	1.6	0.0	0	0
39 分類不明	0.0	3.4	1.1	0	0
40 合計	447.3	564.6	302.0	73	56

(資料)兵庫県地域経済指標研究会「平成27年明石市産業連関表」

参考表3 兵庫県スポーツ産業県内産出額

(単位:百万円)

部門	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
	県内産出額	県内産出額	県内産出額	県内産出額	県内産出額	県内産出額	県内産出額	県内産出額
1 農業	243	269	291	303	314	332	333	420
2 林業	0	0	0	0	0	0	0	0
3 漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
4 鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0
5 飲食料品	2,851	3,161	3,151	9,155	9,632	10,084	10,808	11,554
6 繊維製品	1,317	1,249	1,136	1,201	1,210	1,252	1,228	1,181
7 パルプ・紙・木製品	0	0	0	0	0	0	0	0
8 化学製品	2,504	2,765	2,694	4,911	5,071	5,589	5,632	5,413
9 石油・石炭製品	0	0	0	0	0	0	0	0
10 プラスチック・ゴム製品	26	27	24	18	20	19	19	20
11 窯業・土石製品	0	0	0	0	0	0	0	0
12 鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0
13 非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0
14 金属製品	0	0	0	0	0	0	0	0
15 はん用機械	0	0	0	0	0	0	0	0
16 生産用機械	0	0	0	0	0	0	0	0
17 業務用機械	3,465	3,650	3,686	3,466	3,561	3,306	3,262	3,361
18 電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0
19 電気機械	0	0	0	0	0	0	0	0
20 情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0
21 輸送機械	3,514	5,677	4,577	1,797	2,133	2,392	2,525	2,527
22 その他の製造工業製品	60,094	62,386	55,482	54,662	59,814	57,785	56,522	59,248
23 建設	1,765	1,843	2,064	4,622	4,637	4,961	5,457	5,518
24 電力・ガス・熱供給	0	0	0	0	0	0	0	0
25 水道	0	0	0	0	0	0	0	0
26 廃棄物処理	0	0	0	0	0	0	0	0
27 商業	37,687	38,104	35,807	37,309	39,029	40,525	41,614	40,821
28 金融・保険	156	146	155	183	196	204	208	213
29 不動産	663	667	707	950	961	968	974	987
30 運輸・郵便	10,781	9,986	6,590	6,339	6,748	7,314	7,142	7,185
31 情報通信	9,443	9,406	8,926	11,232	10,549	10,629	12,817	14,387
32 公務	1,021	1,031	1,028	1,223	1,262	1,287	1,315	1,354
33 教育・研究	74,131	83,315	83,605	65,410	74,027	77,382	99,131	108,390
34 医療・福祉	10,285	11,181	10,677	10,972	11,244	11,751	13,175	13,023
35 他に分類されない会員制団体	10,680	12,540	11,915	11,765	12,057	12,600	14,127	13,964
36 対事業所サービス	3,925	4,453	4,338	5,074	5,303	5,316	6,213	7,143
37 対個人サービス	250,446	233,099	177,533	154,476	161,436	171,636	172,190	194,492
38 事務用品	0	0	0	0	0	0	0	0
39 分類不明	0	0	0	0	0	0	0	0
40 合計	484,997	484,955	414,386	385,068	409,204	425,332	454,692	491,201

(出所)兵庫県統計課「平成27年兵庫県産業連関表」「令和2年兵庫県産業連関表」等から推計

参考表4 兵庫県スポーツ産業県内総生産

(単位:百万円)

部門	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
	県内総生産	県内総生産	県内総生産	県内総生産	県内総生産	県内総生産	県内総生産	県内総生産
1 農業	153	157	175	186	195	202	184	291
2 林業	0	0	0	0	0	0	0	0
3 漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
4 鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0
5 飲食料品	1,462	1,552	1,717	4,905	4,992	5,247	5,593	5,937
6 繊維製品	488	440	407	423	447	499	453	426
7 パルプ・紙・木製品	0	0	0	0	0	0	0	0
8 化学製品	1,279	1,484	1,222	2,677	2,436	3,354	3,141	2,868
9 石油・石炭製品	0	0	0	0	0	0	0	0
10 プラスチック・ゴム製品	13	12	11	9	10	9	9	10
11 窯業・土石製品	0	0	0	0	0	0	0	0
12 鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0
13 非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0
14 金属製品	0	0	0	0	0	0	0	0
15 はん用機械	0	0	0	0	0	0	0	0
16 生産用機械	0	0	0	0	0	0	0	0
17 業務用機械	1,259	1,164	1,207	1,286	1,201	1,073	1,105	1,185
18 電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0
19 電気機械	0	0	0	0	0	0	0	0
20 情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0
21 輸送機械	1,051	1,512	1,203	463	786	865	835	790
22 その他の製造工業製品	22,369	21,201	19,699	22,015	23,748	21,358	20,753	23,217
23 建設	773	852	935	1,853	1,558	1,508	1,630	1,587
24 電力・ガス・熱供給	0	0	0	0	0	0	0	0
25 水道	0	0	0	0	0	0	0	0
26 廃棄物処理	0	0	0	0	0	0	0	0
27 商業	24,984	24,634	22,145	25,117	26,744	27,695	27,126	25,321
28 金融・保険	100	93	97	113	132	139	135	138
29 不動産	471	488	520	700	697	701	680	691
30 運輸・郵便	7,268	7,557	3,683	4,869	4,820	5,308	4,510	4,656
31 情報通信	4,085	3,949	3,777	4,690	3,874	4,139	5,739	5,975
32 公務	716	743	717	845	856	871	862	891
33 教育・研究	60,034	65,150	65,826	43,594	59,974	57,879	87,651	81,480
34 医療・福祉	5,764	6,177	5,862	6,136	6,197	6,597	7,643	6,632
35 他に分類されない会員制団体	6,124	7,178	5,845	7,255	7,175	7,710	7,838	8,661
36 対事業所サービス	2,584	2,857	2,655	3,548	3,587	3,491	4,600	5,178
37 対個人サービス	166,936	154,709	101,149	110,638	112,300	122,367	111,617	141,148
38 事務用品	0	0	0	0	0	0	0	0
39 分類不明	0	0	0	0	0	0	0	0
40 合計	307,913	301,909	238,852	241,322	261,729	271,012	292,104	317,082

(出所)兵庫県統計課「平成27年兵庫県産業連関表」「令和2年兵庫県産業連関表」等から推計

参考表5 2024年兵庫県スポーツGDPの県内経済波及効果

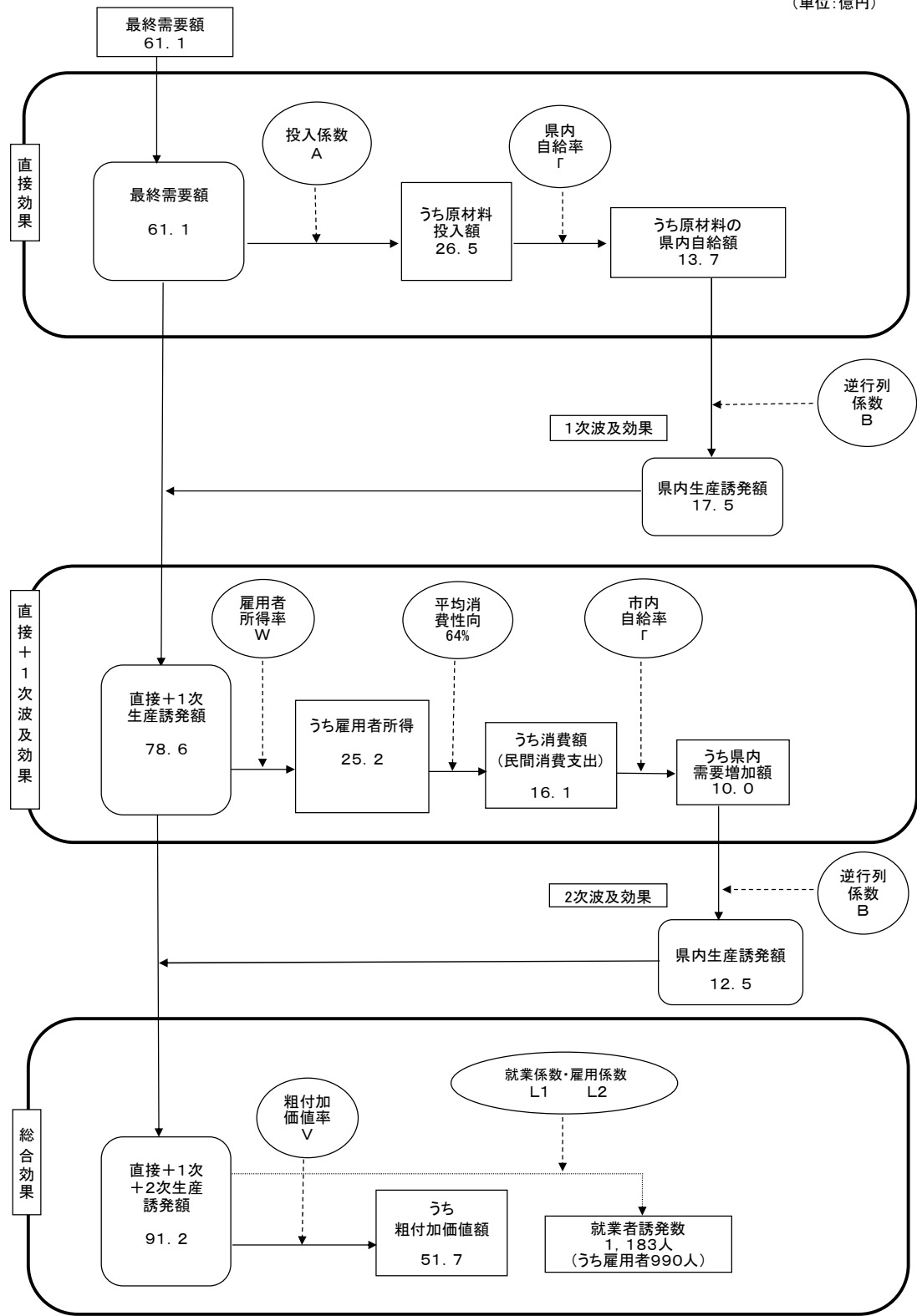
(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	331	1,971	891	539	90
2 林業	0	167	124	23	18
3 漁業	0	1,202	621	115	31
4 鉱業	0	151	58	3	3
5 飲食料品	10,570	22,696	7,599	842	804
6 繊維製品	1,353	1,672	618	277	201
7 パルプ・紙・木製品	0	1,980	648	88	74
8 化学製品	6,098	8,239	2,719	153	152
9 石油・石炭製品	0	1,126	192	14	14
10 プラスチック・ゴム製品	17	1,430	529	65	60
11 窯業・土石製品	0	523	243	22	20
12 鉄鋼	0	508	90	3	3
13 非鉄金属	0	214	53	4	4
14 金属製品	0	868	369	52	46
15 はん用機械	0	184	77	4	3
16 生産用機械	0	171	73	6	5
17 業務用機械	3,344	3,980	1,447	181	178
18 電子部品	0	244	85	9	9
19 電気機械	0	652	223	17	16
20 情報通信機器	0	305	102	6	6
21 輸送機械	2,293	2,998	921	85	84
22 その他の製造工業製品	52,943	55,087	22,247	4,225	3,392
23 建設	5,627	8,078	3,581	701	532
24 電力・ガス・熱供給	0	18,136	5,593	119	119
25 水道	0	4,423	2,078	78	78
26 廃棄物処理	0	4,572	2,806	291	285
27 商業	40,762	63,207	41,902	10,155	9,266
28 金融・保険	201	14,091	9,090	624	615
29 不動産	946	35,899	30,183	578	510
30 運輸・郵便	5,955	20,923	13,481	1,509	1,445
31 情報通信	9,314	18,125	9,504	679	619
32 公務	1,299	2,388	1,674	130	130
33 教育・研究	88,613	92,115	67,105	7,200	6,545
34 医療・福祉	13,393	19,269	11,688	1,998	1,902
35 他に分類されない会員制団体	14,362	16,776	9,620	2,298	2,149
36 対事業所サービス	5,846	34,996	20,896	4,188	3,531
37 対個人サービス	193,295	209,201	106,404	30,140	25,092
38 事務用品	0	1,313	0	0	0
39 分類不明	0	3,150	1,348	6	5
40 合計	456,562	673,031	376,884	67,427	58,036

(出所)兵庫県統計課(2019)「平成27年兵庫県産業連関表」

図2 「神戸マラソン2025」兵庫県内経済波及効果フローチャート

(単位:億円)



(参考 1) 産業連関表各種係数用語

- ・ **投入係数**：ある産業（列）において、生産物 1 単位を生産するために、諸産業（行）から仕入れる原材料などの投入量の割合をいい、これにより生産物の費用構造（各産業の生産技術的關係）や各産業における必要原材料の投入を通じた産業相互間の連結状況が明らかになる。
- ・ **逆行列係数**：ある部門に対する最終需要が 1 単位発生した場合、各部門に対してどのような生産波及が生じ、部門別の国内生産額が最終的にどれだけになるかをみたもので、一覧表にしたのが、「逆行列係数表」である。列和（縦方向にみた計）はその列部門に対する最終需要 1 単位によって引き起こされる産業全体に対する生産波及の大きさを表す。
- ・ **生産誘発額**：生産をするのに必要な原材料としての中間需要、一度生産されたものが再び商品として県内の生産活動に入ってこない最終需要である。全ての生産活動は、最終需要を満たすために行われているといえる。つまり、生産は最終需要によって誘発されていることになる。最終需要によって直接・間接に誘発された生産額を最終需要項目別にみたものが、「最終需要項目別生産誘発額」である。
- ・ **付加価値誘発額**：最終需要が増加すれば、それが生産を増加させ、生産の増加に伴って付加価値も増加する。付加価値が増加すれば、その中の雇用者所得、営業余剰などが最終需要部門に支出され、最終需要の増加をもたらすというように相互に影響し合っている。最終需要によって誘発された付加価値額を最終需要項目別にみたものが、「最終需要項目別付加価値誘発額」である。
- ・ **就業者誘発数**：生産需要に対する労働（雇用）需要誘発数
- ・ 域内自給率： $1 - \text{移輸入率}$ （移輸入額／市内需要額）
- ・ 平均消費性向：消費者の所得全体に対する消費支出の割合
- ・ 民間消費支出係数：産業連関表最終需要部門の民間消費支出の内生部門合計を 1 とした場合の各産業部門の割合。

(参考 2) 経済波及効果及び経済的評価

経済効果とは各種プロジェクトは、地域の人々の生活のいろいろな側面に影響を与える。例えば、新しく橋がかけられて交通の便がよくなったり、体育館やホールができて地域の人々が継続的に利用できるようになったりすると、プラスの経済効果がある。他方、博覧会開催中の混雑、騒音とか、リゾートの観光客と地域住民との摩擦とかいった、マイナスの経済効果もあり得ると考えられる。そうしたさまざまな影響を例示すると、①諸産業間の経済波及効果（諸産業の生産量の増加）、②所得創出・分配効果（所得の増加とその分配）、③雇用機会創出効果（仕事口の増加）、④外部経済・不経済効果（生活基盤の整備、環境汚染など）、⑤社会効果（人々の生活変化とそれに伴う社会変化など）などがあげられる。こうした中で経済的な側面に焦点を当てるのが、経済効果分析である。

直接効果はプロジェクトの建設投資（営業開始後は利用客の消費支出）による様々な生産物やサービスへの需要を満たすために引き起こされる産業連関的な波及効果の累積額である。**間接効果**は直接効果で誘発された所得の中から、家計消費が支出され、消費・所得の循環を通じる乗数的波及過程が始まる。この波及過程で次々と呼び起こされていく経済活動の累計額でプロジェクトそのものからはより遠く、広い範囲での二次的な経済効果であり間接効果までが経済効果の推計対象である。産業連関分析では、生産誘発額、付加価値誘発額、就業者誘発数、雇用者誘発数などの計数が推計され、分析結果評価では経済波及効果と当初需要額及び県内総生産と比較した当初比を計算し、経済効果が高い部門、低い部門を抽出し比較する。この当初比が高い部門が、投資効果が高い部門である。